

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	川崎医療短期大学
設置者名	学校法人川崎学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
		全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
看護科	夜・通信			69	69	10	
医療介護福祉科	夜・通信			53	53	7	
(備考)							

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://jcnnet.kawasaki-m.ac.jp/syllabus/search/">https://jcnnet.kawasaki-m.ac.jp/syllabus/search/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	川崎医療短期大学
設置者名	学校法人川崎学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://k.kawasaki-m.ac.jp/data/executive/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 代表	2018. 3. 31～ 2021. 3. 30	学園運営に係る意見 聴取
非常勤	株式会社 代表	2018. 3. 31～ 2021. 3. 30	学園運営に係る意見 聴取
非常勤	公益社団法人 代表	2018. 6. 18～ 2021. 3. 30	学園運営に係る意見 聴取
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	川崎医療短期大学
設置者名	学校法人川崎学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>シラバスの作成方法に関する研修会を実施し、学内統一のシラバス作成要領にもとづいて科目担当責任者が授業前年度1月に作成する。 シラバスの記載項目は以下のとおりである。 授業科目名、単位数、時間数、授業形態、対象学科、開講年次、必修・選択の別、開講期・曜日・時限、担当教員名、卒業認定・学位授与の方針と本科目の関連、授業のねらい、到達目標、授業概要、授業の特色、授業計画、準備学習等、テキスト、参考書、評価方法、担当教員からのメッセージ シラバス作成後は記載内容が適正であるかといった観点から科目担当教員以外の第三者がチェックを行う。 新年度用シラバスは3月中旬本学ホームページで公表している。 2019年度においては実務経験のある教員等による授業科目一覧を別資料にて作成公表。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://jcnet.kawasaki-m.ac.jp/syllabus/search/">https://jcnet.kawasaki-m.ac.jp/syllabus/search/</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各学生の学修成果に基づき、学則及び履修規程で定められた評価により単位認定を行う。 各授業科目の成績評価の方法や基準はシラバスにて公表している。  各授業科目の修得単位の認定は試験、平常成績等で行う。成績の評価は100点法で表し、優(80点以上)、良(70点以上80点未満)、可(60点以上70点未満)、不可(60点未満)の区分とした上で、優・良・可を合格とする。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

100点満点法で評価された成績ごとにGPを配点し、定められた算出方法でGPAを算出する。

100点満点法で評価された成績ごとに、次に掲げるGPを配点する。

優 (90～100点)	GP=4	優 (80～89点)	GP=3
良 (70～79点)	GP=2	可 (60～69点)	GP=1
不可 (0～59点)	GP=0	評価不能	GP=0
単位保留	GP=0		

GPAは、学期ごと、年度ごと及び在学全期間で集計し、次の方法によって計算する。この場合の計算値は、小数点以下第3位を四捨五入して表記する。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{履修登録した授業科目の単位数} \times \text{該当授業科目のGP}) \text{の総和}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の合計}}$$

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

<https://j.kawasaki-m.ac.jp/guide/004.html>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学ディプロマ・ポリシー</p> <p>次の能力を備えていることを重視し、所定の単位を取得した学生に対して卒業を認定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各学科の学位授与の方針に適合している。</li> <li>2. 修得した知識・技能により、新たな課題を解決できる力を有している。</li> <li>3. 専門的な知識・技能により、社会の一員として社会の発展に寄与できる力を有している。</li> <li>4. 誠実で礼儀正しく、他者のあり方を受け入れる姿勢をもって、社会の規範を順守し、自立した活動ができる力を有している。</li> </ol> <p>看護科ディプロマ・ポリシー</p> <p>看護科は、「建学の理念」に基づいた教育の成果として、次のような能力を身につけ、かつ所定の単位を取得した学生に「短期大学士（看護）」を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護師に必要な知識とともに、看護師国家試験に合格しうる能力を修得している。</li> <li>2. 看護の現場で必要とされる看護技術の水準に到達している。</li> <li>3. 根拠に基づいた看護を提供できる実践能力を修得している。</li> <li>4. 医療人としての豊かな人間性と高い倫理観を備えている。</li> <li>5. 生涯にわたり、看護専門職者としての誇りをもち続けることができる。</li> </ol> <p>医療介護福祉科ディプロマ・ポリシー</p> <p>医療介護福祉科は、「建学の理念」に基づいた教育の成果として、次のような能力を修得し、かつ所定の単位を取得した学生に「短期大学士（医療介護福祉）」を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生活支援が必要な人への介護実践能力を身につけている。</li> <li>2. 根拠を明確にした介護ができる。</li> <li>3. 人権擁護意識と職業倫理を身につけるとともに、医療介護福祉の意義を理解している。</li> <li>4. 介護福祉士としての誇りと専門知識を持ち、医療関係を含む他職種者と連携してチームケアができる。</li> </ol> <p>卒業要件</p> <p>看護科は、3年以上在学し、所定の履修方法により、104 単位以上修得することを要する。</p> <p>医療介護福祉科は、2年以上在学し、所定の履修方法により、77 単位以上修得することを要する。</p> <p>卒業判定</p> <p>卒業要件を満たした者に対して、必要な会議での審議を経て、学長が卒業を認定し、卒業証書を授与する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p><a href="https://j.kawasaki-m.ac.jp/guide/001.html">https://j.kawasaki-m.ac.jp/guide/001.html</a>  <a href="https://j.kawasaki-m.ac.jp/guide/document/gakusoku.pdf">https://j.kawasaki-m.ac.jp/guide/document/gakusoku.pdf</a></p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	川崎医療短期大学
設置者名	学校法人川崎学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://k.kawasaki-m.ac.jp/data/finance/">https://k.kawasaki-m.ac.jp/data/finance/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://k.kawasaki-m.ac.jp/data/finance/">https://k.kawasaki-m.ac.jp/data/finance/</a>
財産目録	<a href="https://k.kawasaki-m.ac.jp/data/finance/">https://k.kawasaki-m.ac.jp/data/finance/</a>
事業報告書	<a href="https://k.kawasaki-m.ac.jp/data/finance/">https://k.kawasaki-m.ac.jp/data/finance/</a>
監事による監査報告(書)	<a href="https://k.kawasaki-m.ac.jp/data/finance/">https://k.kawasaki-m.ac.jp/data/finance/</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <https://j.kawasaki-m.ac.jp/guide/009.html>

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: <http://www.jaca.or.jp/service/evaluation/report/h25.html>

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 看護科
教育研究上の目的（公表方法： <a href="https://j.kawasaki-m.ac.jp/guide/document/gakusoku.pdf">https://j.kawasaki-m.ac.jp/guide/document/gakusoku.pdf</a> ）
（概要） 看護についての幅広い知識と技術を身につけ、医療の現場などで“人間愛”を発揮できる看護職の育成を目指す。
卒業の認定に関する方針（公表方法： <a href="https://j.kawasaki-m.ac.jp/guide/001.html#kangoka">https://j.kawasaki-m.ac.jp/guide/001.html#kangoka</a> ）
（概要） 看護科は、次のような能力を身につけ、かつ所定の単位を取得した学生に「短期大学士（看護）」を授与する。 1. 看護師に必要な知識とともに、看護師国家試験に合格しうる能力を修得している。 2. 看護の現場で必要とされる看護技術の水準に到達している。 3. 根拠に基づいた看護を提供できる実践能力を修得している。 4. 医療人としての豊かな人間性と高い倫理観を備えている。 5. 生涯にわたり、看護専門職者としての誇りを持ち続けることができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： <a href="https://j.kawasaki-m.ac.jp/guide/001.html#kangoka">https://j.kawasaki-m.ac.jp/guide/001.html#kangoka</a> ）
（概要） 看護科は、優れた看護実践者を育成するために、初年次教育においてリメディアル（補習）教育を重視し、基礎学力を強化するとともに、次のような方針でカリキュラムを編成している。 1. 専門基礎科目や専門科目の授業では、基本的な病態に応じた治療や看護を修得できるようにする。 2. 臨床実習では、多様な人間関係のなかで患者一人ひとりに対応できる看護実践能力を養う。また、地域や医療機関等の現場では、実務に近い看護の体験を積み重ねることによって、卒業後のスムーズな適応を図る。 3. すべての教育課程を通じて、身体的・心理的・社会的側面から人間愛を理解できるような人材を育成する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： <a href="https://j.kawasaki-m.ac.jp/guide/001.html#kangoka">https://j.kawasaki-m.ac.jp/guide/001.html#kangoka</a> ）
（概要） 看護科は、将来看護師として社会に寄与できる人材を育成するために、次のような人を求めている。 1. 看護学を学ぶために必要な基礎学力を有している人 2. 人に対し豊かな人間愛を持てる人 3. 広い視野で物事を見たり考えたりできる人 4. 心と身体のバランスを保つことができる人 5. 自ら学ぶ姿勢と意欲をもち、行動力がある人

学部等名 医療介護福祉科
教育研究上の目的（公表方法： <a href="https://j.kawasaki-m.ac.jp/guide/document/gakusoku.pdf">https://j.kawasaki-m.ac.jp/guide/document/gakusoku.pdf</a> ）
（概要） これからの一層の高齢化社会を見据えて、一人ひとりの要介護者に適合した支援ができる、知識と技術を備えた介護専門職の育成を目指す。
卒業の認定に関する方針（公表方法： <a href="https://j.kawasaki-m.ac.jp/guide/001.html#kaigo">https://j.kawasaki-m.ac.jp/guide/001.html#kaigo</a> ）
（概要） 医療介護福祉科は、次のような能力を修得し、かつ所定の単位を取得した学生に「短期大学士（医療介護福祉）」を授与する。 1. 生活支援が必要な人への介護実践能力を身につけている。 2. 根拠を明確にした介護ができる。 3. 人権擁護意識と職業倫理を身につけるとともに、医療介護福祉の意義を理解している。 4. 介護福祉士としての誇りと専門知識を持ち、医療関係を含む他職種者と連携してチームケアができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： <a href="https://j.kawasaki-m.ac.jp/guide/001.html#kaigo">https://j.kawasaki-m.ac.jp/guide/001.html#kaigo</a> ）
（概要） 医療介護福祉科は、共通科目を含む基礎分野に加えて、介護福祉士養成の指定科目群である「人間と社会」、「介護」、「こころとからだのしくみ」、「医療的ケア」の4領域と医療介護福祉科固有の科目を統合したカリキュラムを編成し、以下の方針に基づいて実践している。 1. 医療介護福祉に関する深い専門的知識と技能を養う。 2. 心理的、社会的支援の方法を身につけ、高い倫理観を有する人材を育成する。 3. 介護予防、リハビリテーション、医療介護、さらに看取りまで、幅広い分野を学ぶ機会を提供する。 4. 卒業後の自己研さん能力を身につけられるよう支援する。 5. 全教育課程を通じ、学生の人的成長を支援する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： <a href="https://j.kawasaki-m.ac.jp/guide/001.html#kaigo">https://j.kawasaki-m.ac.jp/guide/001.html#kaigo</a> ）
（概要） 医療介護福祉科は、対人援助の立場から人材育成を行うために、次のような人を求めている。 1. 入学後の修学に必要な基礎学力と理解力を有している人 2. 介護福祉士になることを強く希望し、進んで学習する意欲のある人 3. 協調性と他者を思いやる気持ちのある人 4. 誠実で責任感のある人

## ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://j.kawasaki-m.ac.jp/subpage/data.html>



③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
看護科	—	8人	8人	5人	6人	0人	27人
医療介護福祉科	—	2人	2人	3人	0人	0人	7人
放射線技術科	—	1人	1人	0人	0人	0人	2人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1人		123人					124人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： <a href="https://j.kawasaki-m.ac.jp/guide/007.html">https://j.kawasaki-m.ac.jp/guide/007.html</a>					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
看護科	120人	140人	116.7%	360人	444人	123.3%	0人	0人
医療介護福祉科	80人	13人	16.3%	160人	30人	18.8%	0人	0人
合計	200人	153人	76.5%	520人	474人	91.2%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
看護科	131人 (100%)	6人 (4.6%)	116人 (88.5%)	9人 (6.9%)
医療介護福祉科	4人 (100%)	2人 (50.0%)	2人 (50.0%)	0人 (0%)
臨床検査科	62人 (100%)	0人 (0%)	53人 (85.5%)	9人 (14.5%)
放射線技術科	53人 (100%)	1人 (1.9%)	46人 (86.8%)	6人 (11.3%)
医療保育科	80人 (100%)	0人 (0%)	78人 (97.5%)	2人 (2.5%)
合計	330人 (100%)	9人 (2.7%)	295人 (89.4%)	26人 (7.9%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>本学ホームページで公表しているシラバスの記載項目は以下のとおりである。</p> <p>授業科目名、単位数、時間数、授業形態、対象学科、開講年次、必修・選択の別、開講期・曜日・時限、担当教員名、卒業認定・学位授与の方針と本科目の関連、授業のねらい、到達目標、授業概要、授業の特色、授業計画、準備学習等、テキスト、参考書、評価方法、担当教員からのメッセージ</p> <p>また、大学暦に基づき、各学科とも適切に時間割を編成し、年間の授業計画を立てている。なお、2019 年度においては実務経験のある教員等による授業科目一覧を別資料にて作成公表。</p>
---

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>各学生の学修成果に基づき、学則及び履修規程で定められた評価により単位認定を行う。各授業科目の成績評価の方法や基準はシラバスにて公表している。</p> <p>各授業科目の修得単位の認定は試験、平常成績等で行う。成績の評価は100点法で表し、優（80点以上）、良（70点以上80点未満）、可（60点以上70点未満）、不可（60点未満）の区分とした上で、優・良・可を合格とする。</p> <p>卒業要件</p> <p>看護科は、3年以上在学し、所定の履修方法により、104 単位以上修得することを要する。医療介護福祉科は、2年以上在学し、所定の履修方法により、77 単位以上修得することを要する。</p> <p>卒業判定</p> <p>卒業要件を満たした者に対して、必要な会議での審議を経て、学長が卒業を認定し、卒業証書を授与する。</p>												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学科名</th> <th>卒業に必要となる 単位数</th> <th>G P A制度の採用 (任意記載事項)</th> <th>履修単位の登録上限 (任意記載事項)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護科</td> <td>104 単位</td> <td>有 無</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>医療介護福祉科</td> <td>77 単位</td> <td>有 無</td> <td>単位</td> </tr> </tbody> </table>	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)	看護科	104 単位	有 無	単位	医療介護福祉科	77 単位	有 無	単位
学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)									
看護科	104 単位	有 無	単位									
医療介護福祉科	77 単位	有 無	単位									
G P Aの活用状況（任意記載事項）	公表方法：											

学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法：
----------------------------	-------

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://j.kawasaki-m.ac.jp/subpage/data.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
看護科	600,000 円	250,000 円	350,000 円	教育充実費
医療介護福祉科	600,000 円	250,000 円	350,000 円	教育充実費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) 担任制及びアドバイザー制によるきめ細かい学修と進路・生活の個別指導を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要) 全学的な就職支援講座として就職活動動機づけ講座、自己分析講座等を開催している。各学科では就職担当教員が担任とも協力し、それぞれの学生の希望や適性に合った指導を行っている。 進学や編入学を目指す学生には、進学・編入学に関するガイダンス、小論文等の個別指導を行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 (概要) 健康支援室では健康について様々な相談を受け、簡単な応急処置看護、医療機関紹介等も行っている。また、学生相談室では悩みごとなどに臨床心理士が応じている。 その他、学生に対してUPI 検査を実施して、心身の健康状態の把握に努めている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : <a href="https://j.kawasaki-m.ac.jp/">https://j.kawasaki-m.ac.jp/</a>
--